2018年　　4月　　16日

2017年「世界腎臓デー　in 　鹿児島」（イベント）

で行われた食習慣アンケート及び食塩味覚感受性評価に参加された方へ

（　医学系研究に関する情報　）

　鹿児島大学大学院医歯学総合研究科衛生学・健康増進医学分野では、以下の研究を実施しております。この研究は、2017年「世界腎臓デー　in　鹿児島」で得られた食習慣アンケートと食塩味覚感受性評価の結果をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

鹿児島市CKD啓発イベントに自主的に参加された方を対象とした

食習慣アンケート及び食塩味覚感受性評価の解析

【研究機関】

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科　衛生学・健康増進医学分野

【研究責任者】

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科　衛生学・健康増進医学分野

　教授　堀内　正久

【研究の目的】

食塩味覚感受性低下が生じることで、塩味を感じにくくなり、本人の意識と実際の食塩摂取量に乖離が生じやすくなります。食塩味覚感受性低下に伴い食塩摂取量が増加し、高血圧症、慢性腎臓病、心疾患、肥満、脂質異常症などの生活習慣病発症・進展を促進させると考えられます。高血圧症、慢性腎臓病、生活習慣病などの発症・進展予防のためには、食塩味覚感受性保持が重要です。本研究では、食塩味覚感受性と関連する食習慣因子の検討を行います。生活習慣病予防のための基礎的研究です。

【研究の方法】

2017年2月26日に開催された「世界腎臓デー　in　鹿児島」で行われた食習慣アンケートと食塩味覚感受性評価の結果を解析します。

【対象となる方】

2017年2月26日に開催された「世界腎臓デー　in　鹿児島」で行われた食習慣アンケートと食塩味覚感受性評価に参加された方を対象にしています。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

2017年2月26日に開催された「世界腎臓デー　in　鹿児島」で行われた食習慣アンケートと食塩味覚感受性評価の結果を利用し、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科衛生学・健康増進医学分野で解析します。

研究責任者

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科　衛生学・健康増進医学分野教授

鹿児島市CKD予防ネットワークプロジェクト会議

委員長

堀内　正久

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する情報は、当日はお名前などの記載をしていませんので、匿名化

されており、個人の特定はできない情報となっています。得られた資料は研究

課題名以外の研究には使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、「世界腎臓デー　in　鹿児島」イベント時のデータ収集は、鹿児

島市CKD予防ネットワークプロジェクト会議の経費にて実施します。データ解

析については、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科衛生学・健康増進医学分野

分野の研究費で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。

企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けておりま

せんので、利害の衝突は発生しません。

【問い合わせ先】

　〒890-8520

　鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番地1号

　鹿児島大学鹿児島大学大学院医歯学総合研究科　衛生学・健康増進医学分野

教授

鹿児島市CKD予防ネットワークプロジェクト会議

委員長

堀内　正久

　電話　099-275-5289 FAX　099-265-8434